

牛道春秋

駐在妻の欄

▼長男と私の二人でバンテリンドームへ野球観戦に行きました。▼慣れない電車の乗り換えに四苦八苦しなから何とか辿り着き試合開始を待ちました。▼試合は、初回から2本のホームランが飛び出し、ベテラン涌井投手の無表情ながらも熱い投球で終始ドラゴンズペースで試合が進みました。▼十数年ぶりの野球観戦だった私は「さすが押切もえの旦那。」「押切もえも昔はガングロギヤルだったのに。」と内助の功の重要性と時の移ろいを噛み締めながら喜んで観戦していました。▼しかし1年ぶりぐらいの長男は、途中で飽きてきたのか、試合を見ずにビールやポップコーンの売り子のお姉さんの容姿を見ては「あれじゃあ売れない。」「あれは、つまみ食いしてるんじゃないの。」などと勝手に査定をしていました。▼長男と2人で出掛ける機会もあと何回あるのだろうかと思いつつ、ビールを何度も傾けた7月の夜でした。▼その結果、人間ドックが迫っていたこともあり、その日からウォーキングで西坂に行く回数を増やす羽目に陥りました。▼その時、旦那は五十肩と腰痛で、患部にバンテリンを塗っていたそうです。